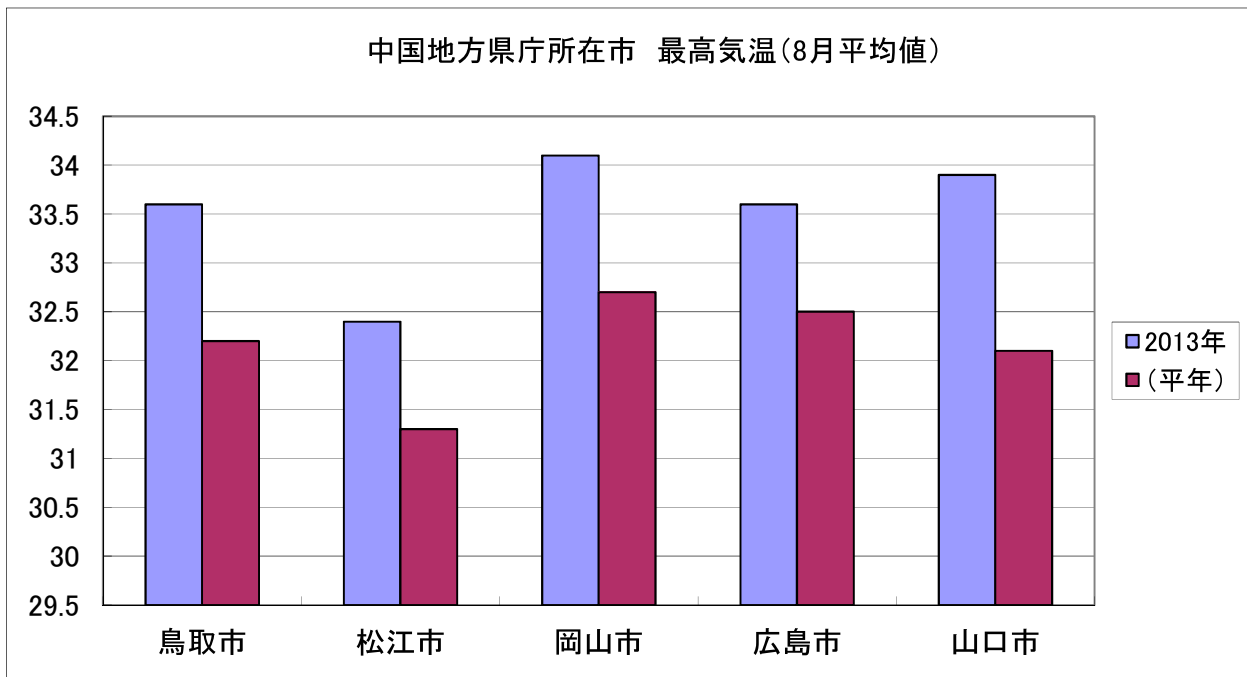


鳥取も晴れの国？



資料出所: 気象庁「気象統計情報」

2013年(平成25年)は、各地で記録的な猛暑となりました。原因は上空の偏西風が蛇行して、例年以上に強く高気圧が張り出し、南から暑く湿った空気を運んできたためとのことです。

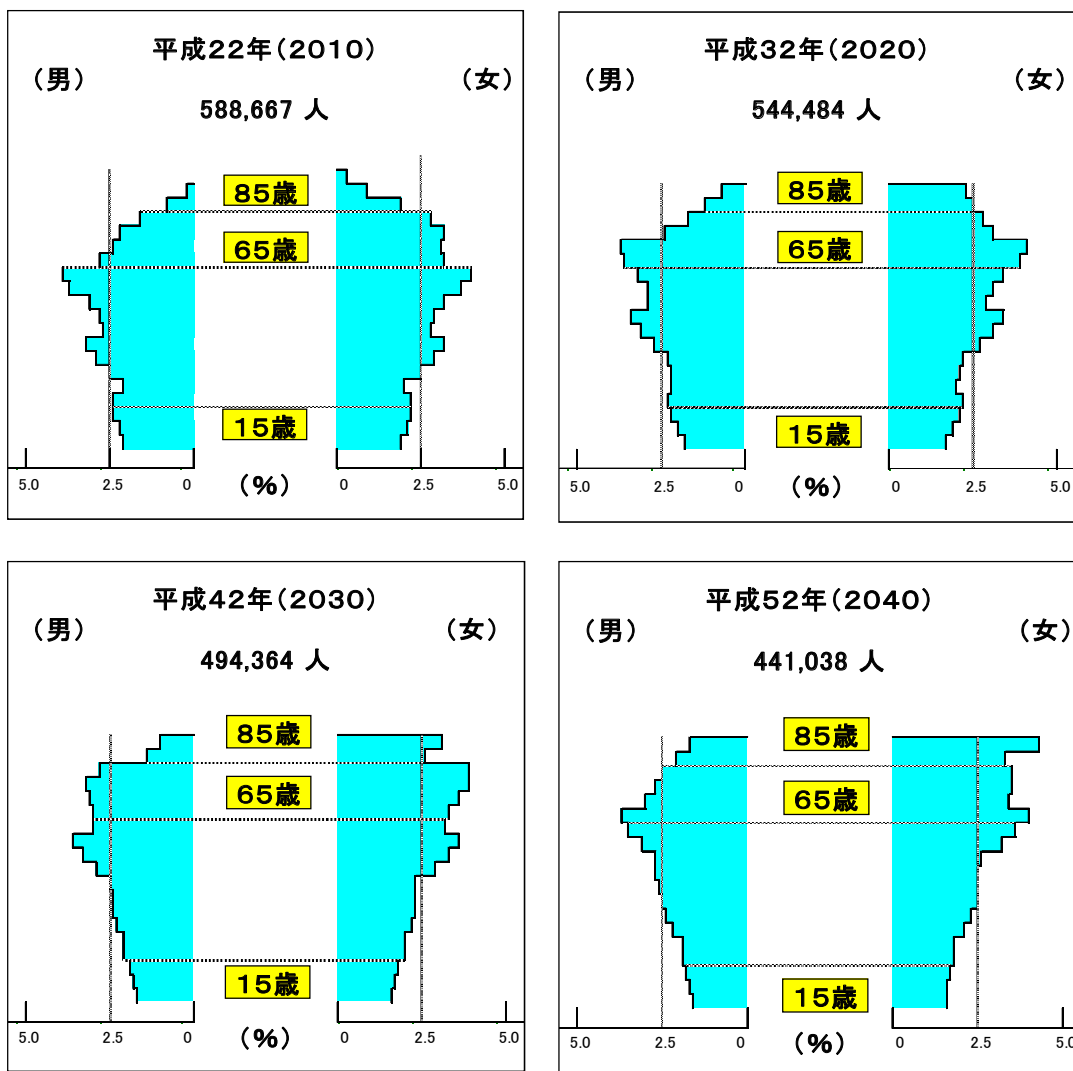
鳥取市も平年を上回り、8月の最高気温(日最高気温の月平均値)は33.6度。山陽側各県の平年値をも上回る暑さとなりました。

同じ2013年で比較すると、さすがに晴れの国と呼ばれている岡山市の34.1度には及ばなかったものの、その平年値32.7度を上回っています。

鳥取市も十分、晴れに恵まれた年であったといえるでしょう。

※平年値は、1981年から2010年の平均です。

逆三角形のピラミッド



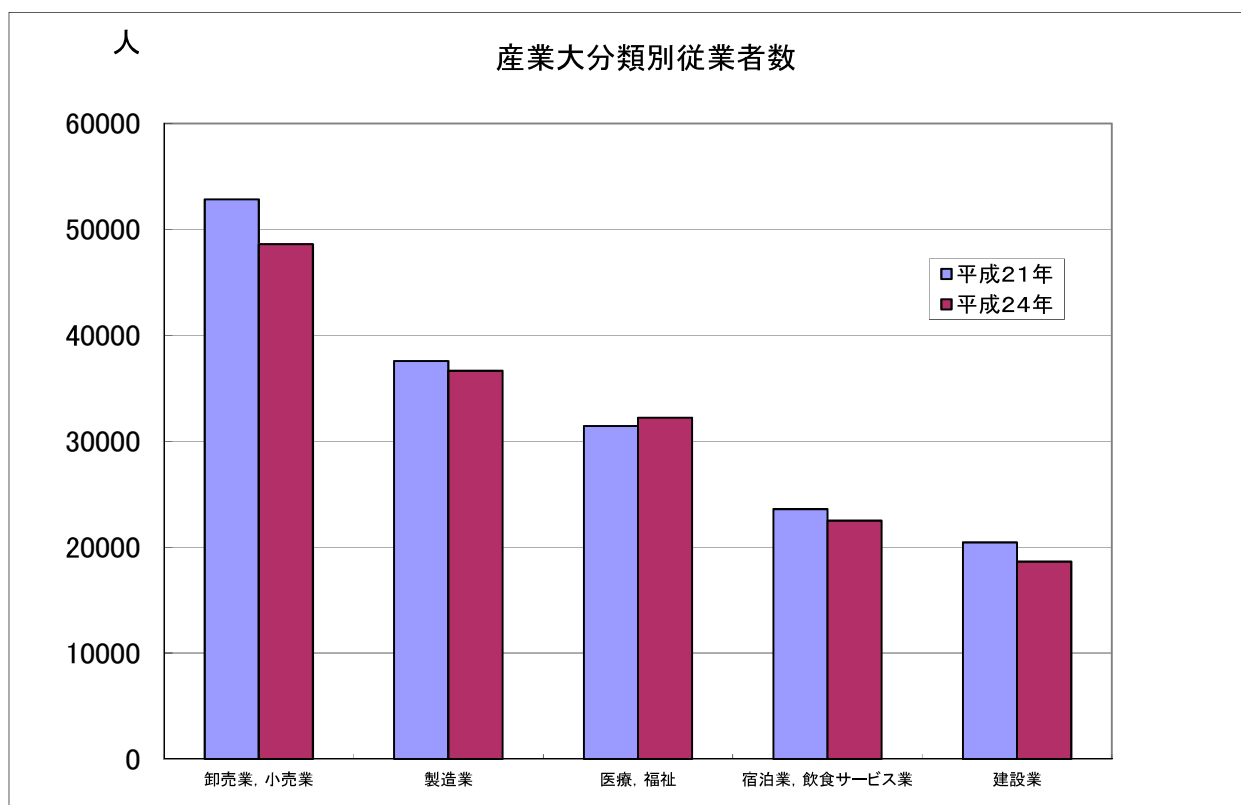
資料出所: 国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口(都道府県)」

地域別将来推計人口によると、鳥取県の人口は、今後も減少を続けていくと予測されています。

この推計では、現在の年少人口の動向から、将来家庭を営むであろう世代とその子ども達の動向を予測しています。

予測はあくまで予測ですが、年少人口は、すでに減少傾向が長らく続いており、将来的に逆ピラミッド型が進む見通しになっています。

人が集まる産業



資料出所：総務省「経済センサス」

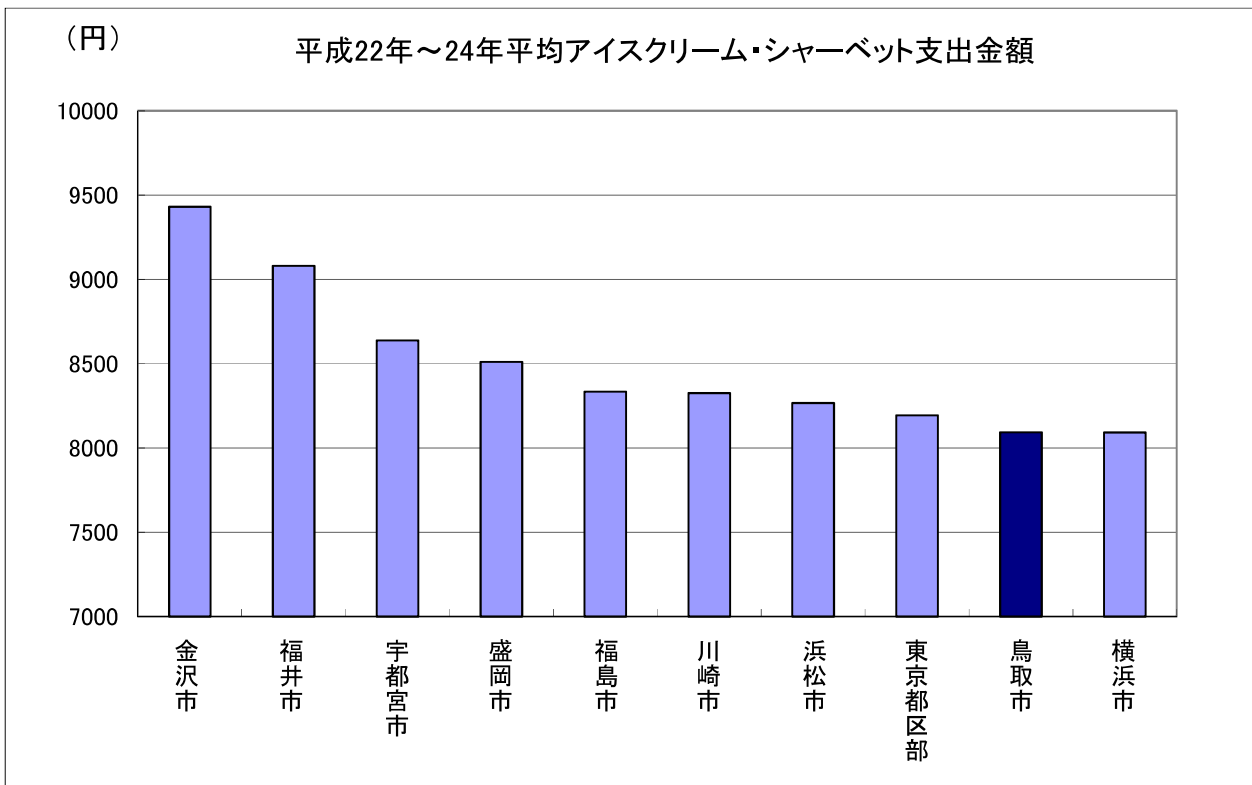
近年、鳥取県内で、従業者の多い産業の上位5部門をとりあげてみました。

少子化による労働力人口の減に加えて、平成21年から24年の間には、東日本大震災、ヨーロッパ金融危機など、国内外で大きな変化が起こり、その影響もあり、県内の各産業の従業者数も、おおむね減少しています。

一方、このような状況において医療、福祉だけは、従業者数を増加させています。確実に見込まれる高齢者の増がその背景にありますが、医療、福祉の仕事には、人の手によらなければならないところが多くあるのが、その特徴の一つです。

どの産業に人が集まるかはその時々的情勢で変わるものの、人と人の関わり合いは、今後も重要な要素になることでしょう。

夏にとろけよう



資料出所：総務省統計局「家計調査」

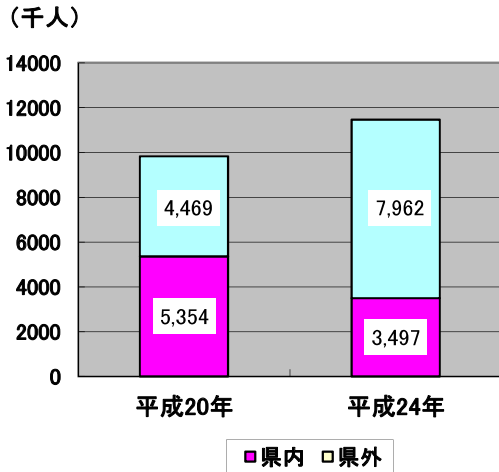
家計調査(二人以上の世帯)で、チョコレートの1世帯あたり支出金額(平成22年～24年平均)が全国の県庁所在市(川崎市、浜松市、堺市及び北九州市を含む)で2位になるなど、甘い物好きを広めつつある鳥取市ですが、次にブームが来そうなのがアイスクリーム。

同じ調査で全国9位に入り、平成25年8月だけをとってみると、支出金額1,660円で3位に食い込んでいます。猛暑の影響もあったのですが、グラフをみると暑い地方ほど支出金額が多いわけでもありません。

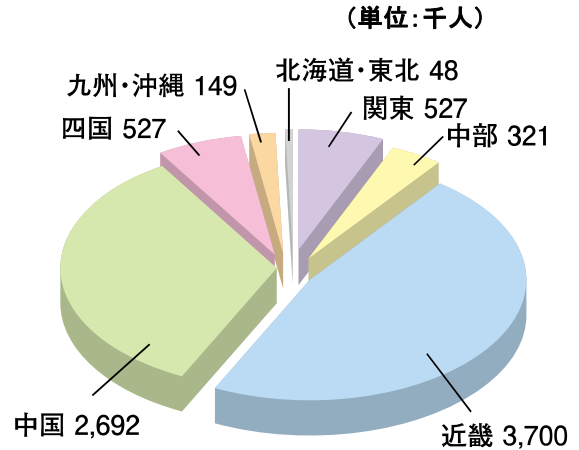
カレールウが1位になったことをきっかけに、地域おこしの一環として「鳥取カレー」が開発されたように、新たな商品が生まれるかも知れませんね。

お、も、て、な、し。(鳥取県の観光事情)

県外・県内別観光入込客数



発地別観光入込客数(平成24年)



地域別観光入込客数(平成20~24年)

(単位:千人)

| 広域エリア名 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 |
|---------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺 | 2,591 | 2,786 | 2,703 | 2,677 | 3,173 |
| 浦富海岸・岩井温泉周辺 | 157 | 153 | 197 | 209 | 195 |
| 八頭 | 185 | 228 | 225 | 252 | 235 |
| とっとり梨の花温泉郷周辺 | 1,352 | 1,425 | 1,411 | 1,429 | 1,411 |
| 東伯耆周辺 | 613 | 631 | 601 | 628 | 774 |
| 米子・皆生温泉周辺 | 1,217 | 1,397 | 1,582 | 1,639 | 1,786 |
| 境港周辺 | 1,806 | 1,825 | 3,050 | 2,846 | 2,418 |
| 大山周辺 | 1,136 | 1,221 | 1,278 | 1,365 | 1,304 |
| 奥日野周辺 | 140 | 157 | 177 | 164 | 163 |
| 合計 | 9,197 | 9,823 | 11,224 | 11,209 | 11,459 |

資料出所: 鳥取県観光政策課「観光客入込動態調査結果」

鳥取県の観光入込客数は、ここ数年、県外客の増によって増加傾向にあり、なかでも近畿からの旅行者が大きな割合を占めています。

鳥取県らしい「お、も、て、な、し」の心でお迎えすることはもとよりですが、鳥取自動車道の全線開通により、近畿圏の方々にとってさらに身近な旅行先となったことをアピールして、旅行者の増加に結びつけたいものです。